



金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

金屋町の旧7町には、それぞれお地蔵様があります。金屋のまちなみを伝統的建造物群として選定するに際して、地蔵堂もその対象になるそうですが、修理の際に助成金が出るとなれば、助かりますね。

自由な運営が可能になります。

自治会長が交代しました

金屋町自治会は役員改選期にあたり、自治会長が加藤昌宏さんから佐野正平さん（宮川町、薬局の隣の電気工事屋さん）に交代しました。自治会長以外でまだ決まっていないポストもありますが、近日中に決まる見込みです。



佐野正平さん

建築の許可制度が適用開始に

重伝建選定へ向けて

町並みの重要伝統的建造物群選定に向けて、住民アンケートなどの手続きが進められてきましたが、順調に進捗しており、今年末ごろに選定される見込みになっています。

なお選定に先立って市の伝建地区指定を受け、4月25日から伝建制度の運用開始となり、建築行為時の許可制度等が適用開始されます。つまり対象地域内で外観を改築・新築する際には届出と許可が必要になるので、ご注意ください。

鋳物資料館が4月から指定管理へ

2007年に現在の鋳物資料館が設置された時から懸案となっていたことですが、3月議会の承認を受けてこの4月から金屋町自治会が指定管理者になる見込みです。指定管理の契約期間は3年間です。

指定管理になると、運営していく上で予算と共に裁量権が大幅に自治会へ委ねられるので、いろんな面で独自に工夫するなど、これまでより

金屋町が法人格を取得しました

かねてからの懸案でしたが、金屋町自治会は地縁団体として法人格を取得しました。このことによって自治会保有の不動産である公民館を、自治会名で登記することができるようになりました。

ちなみに今までは設立当時の7自治会長連名で登記しており、既に数名の方が逝去されているので相続手続きをする必要がありましたが、今後はそういう問題がおきません。

英会話講座が終了

金屋町まちづくり協議会では、市民協働事業と



して助成を受け「おもてなし外国語講座」を開講してきましたが、中国語・韓国語・英語と予定通りに進捗し、この3月11日に最終回を迎えました。極めて短期間の講座でしたが、受講された方々には多少の国際感覚が磨かれたものと思われます。

子供達が千保川に鮭の稚魚を放流

3月6日、横田橋の近くで西条小学校の児童達が千保川へ鮭の稚魚を放流しました。児童達が卵から孵化して育てた200匹に庄川漁連から調達した2,000匹を加えて合計2,200

匹です。この事業は千保川をきれいにする連絡協議会が2004年から毎年行っているもので、千保川沿いの9校の児童が参加しています。



般若陽子さんが事例発表

「いきいき文化財博士」実践研修会

県が文化財ボランティア育成事業で養成した「いきいき文化財博士」や、県内の文化財ボランティア団体を対象にした実践研修会が3月4日、県民会館で開かれ、「金屋町開町400年とまちづくり」と題して般若陽子さんが約40分間の事例発表を行いました。

他に「万葉のまちづくり～大伴家持巡行の旅を終えて～」と題して、巡行の旅実行委員長を務めた筏井秀樹さんによる約1時間の講演があり、歴史に関心を持つ市民ら約90人が参加し、熱心に耳を傾けました。

いきいき文化財博士とは、身近な文化財への愛護意識を醸成し文化財の保護活動への県民参加を促すために、県が養成した文化財ボランティア235人のことで、この研修会は05年度からボランティアの交流や意見交換を目的に年1回開催されています。

ものづくり・デザイン科

高岡市美術館で、小中学生がものづくり・デザイン科の授業で作った、伝統工芸作品展を見ってきました。高岡市の伝統工芸ということで、錫を使った鋳物と漆塗りの工芸品が所狭しと並んでいましたが、小中学生とは思えない立派な出

来ばえでした。

今まで詳しくは知らなかったのですが、国の構造改革特別区域計画として「高岡市ものづくり・デザイン人材育成特区」の認定を受け、ものづくり・デザインの町づくりと地場産業活性化を目指し、平成18年4月から市内の小・中・特別支援学校全40校で、高岡の歴史や産業の特徴を生かした市独自の必修教科「ものづくり・デザイン科」を実施しているもので、地域の伝



子供達の螺鈿細工作品

統工芸や産業に目を向けた取り組みとしては全国唯一のものだそうです。小学5・

6年生と

中学1年生を対象に、年間35時間をかけた授業で、金屋町の「かんか」スタッフも、市内の伝統工芸作家達とともに講師を務めています。

まちづくりリーダー研修発表会

2月17日、ウイングウイング高岡において、高岡地区広域圏事務組合から助成金を受けて視察研修を実施したまちづくり6団体の発表会があり、金屋町まちづくり協議会は「越前大野の視察研修」について、副会長の棚田義宏さんが発表しました。

ちなみに高岡伝統産業青年会を代表して金屋古町の関谷隆行さんが「石川・福井の地場産業視察」の発表をしました。

建設予定の西条公民館

西条校下の市立公民館として西部中学校前の農地で建設が計画されていますが、3月議会で予算がつき、6月ごろに着工する見込みです。